

岡山中百舌鳥会かわら版

今月のTOPIX

- ①平成19年第二回ハイキング
- ②平成19年第1回岡山中百舌鳥会
- ③山陽新聞「集い」欄へ記事投稿

ご挨拶

岡山中百舌鳥会では、会員相互の情報交換の場として、メール配信を原則とする「かわら版」を発行することとなりました。主旨は、趣味から仕事・ビジネスまで、常識範囲での自由(無料)の会員相互の連絡掲示板のような機能の場を提供することです。どのような紙面にするかは、会員の皆様からの意見やアイデアを頂きながら、一緒に“歩きながら考えたい”と思っています。まず歩き始めること、一歩踏み出すことが大切ではないかと思っています。ご支援とご協力をお願いいたします。

役員会・事務局を代表して 会長 阪田祐作

平成19年度 岡山中百舌鳥会 総会と講演会

恒例の夏季の岡山中百舌鳥会総会と講演会が開かれました。残念ながら今回、参加者は●●名と少ないながら、いつものように、にぎやかに旧交を温めました。

日時 ; 平成19年6月9日(土) 16:30~20:00

場所 ; ピュアリティまきび(岡山駅より南へ徒歩7分) 岡山市下石井2-6-41、電話 086-232-0511

内容 ; 1)総会 ; 16:30~17:00

2)講演会 ; 17:00~18:00 「マリンプロペラと共に45年」 講師 ; 市川 東 作 氏 (大船25)
ナカシマプロペラグループ 株式会社 ナック 取締役

3)懇親会 ; 18:10~20:00 会費 7,000円(当日受付にて)

かわら版の記事と内容 アイデアを募集します

会員の皆様に投稿や協力をお願い；配信用の会員メールアドレスを登録してください。

①次回の中百舌鳥会開催日の予告。……、

②人脈開拓…先輩・後輩のありがたさ…のコラム

講演していただいた内容の概略紹介…演者に書いていただくのがベストです。

③こんなこと教えて；仕事関係、趣味関係…(同窓会員のQ&Aのコーナー)

④私の一押し「人物紹介」、「もの、商品の紹介」、「アイデア公開」…など

⑤ 岡山中百舌鳥会の成り立ち(簡単な歴史)…どなたか書いてください。

岡山中百舌鳥会の概要 [ホームページ](http://www1.harenet.ne.jp/~nakamozu/)

<http://www1.harenet.ne.jp/~nakamozu/>

平成19年第二回 親睦ハイキング

平成19年岡山中百舌鳥会の第二回親睦ハイキングを行いました。参加者は、大藪; 石井; 宇根; 福島; 松浦; 野田; 中西; 原、岩城の9名でした。好天に恵まれ楽しい1日でした。下記の要領で実施しました。

目的地: 大麻(おおさ)山(616m) 香川県琴平町

金比羅宮 奥の院の背景にある山です。頂上付近はつつじ、ボタン桜の名所、また讃岐平野や瀬戸内海の展望も開かれています。

日時 : 平成19年5月11日

行程: 琴平駅→表参道→本宮→奥の院→大麻山→奥の院→裏参道→琴平駅

持参品: 弁当、茶、手袋など

平成19年第2回ハイキングの記事を 山陽新聞の「集い」欄に投稿し掲載されました(7月13日)。

6月9日の総会も第二弾として投稿する予定にしています。

山陽新聞「集い」欄に掲載された記事

○ ● ○

◇5月11日

◇香川・大麻山

大阪府立大学岡山地区卒業生の同窓会「岡山中百舌鳥会」は、昭和四十二年創設以来、四十年になります。

毎年二回の総会と同窓生の講演を中心懇親会を開いて親睦を深めていきますが、参加者の平均年齢が上がってきており、若い人の参加を期待しています。

会員の健康増進のため



オフ会としてハイキングにたどり着きました。和を企画。今回は香川の気あいあい楽しみまし大麻山(普通寺市)を自た。

指しました。日ごろマラ これからも続けようとしてソイヤ登山で鍛えている 決意を新たにしました。

人もいて、全員無事山頂

(石井晋)

岡山中百舌鳥会第2回親睦ハイキング



次回の親睦ハイキングの予告……を、いれてはいかがでしょうか。



随筆(長さは自由)・俳句・川柳など文芸欄を不定期に設けます・・・皆様の投稿をお待ちします。今号は特別に岩城嵩氏にお願いしました

お接待余話 (四国八十八寺歩き遍路紀行一付録)

岩城 嵩 (工学部機械工学36年卒)

松山市50番繁多寺から51番石手寺に向かう道路、初夏なのに目が痛くなるような暑さの中、よたよたと歩いてゆくと、冷たさと甘さを潜在的に求めていたのか、ソフトクリームの看板にひきつけられ和菓子屋さんにふらふらと立ち寄ってしまいました。

リュックを置き、待ち席でおかみさんと雑談しながらいただいていると、「お接待です」とコーヒを出してくれました、両手が塞がり無作法な姿で食べていると、さらに「タルトです、これもどうぞ」とポリ袋を横に置いてくれました。何と500gはありそうな大きくずっしりした袋です。聞くと「うちの工場で作ったものですが」とのこと、恐縮しつつもありがたく、リュックの上部空間部にそっとしまい、「ごちそう様、ありがとうございました」と出立しましたが、荷が気になります。

石手寺の庭で一服して確かめると「の」の字に巻いた直径が約3cm厚さ1cmの小ぶりのタルト端部がぎゅぎゅ入っています。(棒状の巻き寿司をスライスしたときの両端の部分の思い出してください。)この端部は少し焦げ加減に焼きあがったカステラ地に、秘伝のあずきあんがはみ出し、しっとりとした濃厚なハーモニーを作っています、タルトのトロとも言える箇所ではないかと私は思いますが、ただ販売されている正規のタルトには端部と言うことだけで、つまはじきになっている可哀想なやつらです。

歩くたびに それらは少しずつ ずれ下がり、圧縮され加減ですが、その美味は衰えた点は全くなく、さらにもっちりしたことで旨さがかえって増したようにさえ感じられます。十分にいただいて残りは明日以降の楽しみです。また、愛媛の菓子屋さんでは必ずといって良いほどタルトを置いています、もう少し大形のもの一般的なようです。

翌日は朝から雨、52,53番札所を經由して、今治方面へひたすら海沿いに歩く、GOATEXで身を固めているのですが、国道沿いではトラックの水しぶきを横から受けて、靴の中はびしょぬれ、リュックの防水マットは効果なし、荷は個別にポリ袋に入れているので心配ないけれど、吸水でリュックは重くなっている。

途中、泉大津からの歩き遍路さんと同道になる、小さな町の小さな御堂で雨を避けながら休憩、近くのたばこ屋のおやじさんも寄ってきて、缶コーヒの接待をいただきながら談笑、あのタルトもここでいただくこと取り出してみると、もともと輪切りされ独立していたタルトは、朝からの歩きによる振動で圧密化され、ポリ袋の上からそれらを分離しようとしませんが、壊れてしまうものも少なからずの状態です。

それでもあの美味に変化のあるはずもないと、皆さんに勧めると どうしたことか 歩き遍路さんは「私は甘いものが苦手です」と、たばこ屋のおやじさんは「糖分を控えているのでね」と二人とも「折角やけれど・・・申し訳ない・・・」とのこと。私も一人だけで申し訳なくこっそりいただいた次第です。後に、一人遍路の道すがらつくづく考えると、「見知らぬ人から怪しげな形をした食べ物を勧められても、なかなかいただけるものではない」ことがだんだんと私にも理解できてきました。昼食の代わりにタルトです、それでもたくさん残っています。

翌々日です、54番を經由して59番まで37kmの強行軍です、朝のおやつもタルト、昼食後の2回のおやつもタルト、それに道中 目のつく看板にもタルトの何と多いことよ！タルトが腹の中だけでなく、脳味噌にも行き渡ったようでタルト・アレルギー状態です。

その日の宿は国民休暇村東予です、しゃれた大型ホテルのようで、部屋に案内され見ると、何とお茶菓子にあのサイズのタルトが、勿論 端でないやつが乗っているではありませんか。ついに私も「折角やけれど・・・申し訳ない・・・」と手を付けずじまいになりました。

でも今、遍路を打ち終わって振り返ると、あのタルトが懐かしくもう一度食べたくくなります。気前の良い和菓子屋のおかみさん、それから愛媛の名菓タルトに心からお礼申し上げる次第です。